

まなびや



2021年 飛躍の年に

2021年が始まりました。1月7日の朝会では、「1年の計は、元旦にあり」の諺をもとに、年の始まりに、今年目標、またこれからの目標をもち、計画を立てて実行していくことの大切さを子どもたちに伝えました。この言葉は、最初るときこそ計画を立てることが大切であり、何事も最初が肝心であるという戒めを意味しています。先が見えず不安や心配が絶えない状況の今だからこそ、子どもたちには、夢や未来に向かって「あきらめない」という強い思いをもち、一步一步着実に前に進んでいく、飛躍の一年にしていってほしいと願っています。今年本校にとりましても飛躍の年となりますよう教職員一同全力を挙げて取り組んでまいります。保護者・地域の皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

小さな声でも心を込めて『あいさつ運動』

～児童会の取組を広げよう～

児童会では、朝の「あいさつ運動」を行っています。緊急事態宣言が発令され、日本中、気持ちが沈みがちの中で小さな声でもよいので、毎朝友だちや先生に「おはよう」と挨拶をしたり、誰かに助けてもらった時は、「ありがとう」を言えたり、人と人の間に行き交う心の言葉を大切にしたいと思います。福沢小学校のよさは、温かい気持ちの通い合いが沢山あるところです。マスクの下はいつも笑顔のみんなでありたいと願って、朝から挨拶の輪を広げていこうと取り組んでいます。

学級指導 一人一人の人権意識を高めよう

1月22日付で保健だよりを配付しました。裏面に、学校だけでなく家庭でも取り組んでいただきたい「手洗い」「マスク」「換気」の予防対策をわかりやすくお示しました。また、新型コロナウイルス感染症により、心ない偏見や差別で苦しむようなことがないよう、同じ裏面(下記に抜粋)に人権の視点からの内容も記載いたしました。さらに、他者を思いやって生活していこうというねらいをもって、全学級で指導の時間を設けました。ご家庭でも、人権を守ることの大切さをご指導いただけるとありがたいです。ご協力よろしくお願いします。

マスクの下は、いつも笑顔で！



～廊下にて「笑顔」の呼びかけ掲示～

雲外蒼天

言行一致

真剣勝負

和衷協同

温故知新

千載一遇

書初め
～六年生が自分で選んだ四字熟語～



＝保健だより(裏面抜粋)＝

これだけしっかり予防をしても、今はいつ、だれが新型コロナウイルスにかかってもおかしくない状態です。新型コロナウイルスにかかることも、かかった人も悪くありません。誰かを責めることはできません。今の状況でみんながお互いに頑張っています。自分ができる感染予防をしっかりと続けながら、思いやりの心をもって過ごしましょう。

「おにぎり弁当の日」は、災害時のことを想定しながら、おにぎりを食しました。いつでも起こりうることとして貴重な防災体験となりました。おにぎり弁当へのご協力ありがとうございました。



◆給食に三崎の鮪と相州牛の無償提供◆

今年度の学校給食では、農林水産省の事業である緊急経済対策として「三崎の鮪」や、神奈川県食肉協会からも「相州牛」が無償で提供されています。それらの新鮮な地場の素材は、「鮪と大豆の味噌がらめ」(写真下)や「ビーフストロガノフ」といった魅力的な献立になって登場し、子どもたちは毎回舌鼓。給食では、子どもたちの健やかな成長を願い、栄養価や安全性への配慮はもちろんのこと、地産地消を推進しながら、楽しい給食の提供に努めています。



～鮪のおかずは、中央上～

GIGAスクール いよいよスタートへ！

2月から児童一人一台タブレット端末が導入されます。それに先立って、端末を使っての職員研修を行う予定です。機器の使用法、学習ソフトの活用や情報セキュリティの大切さについて確認します。タブレットを文房具のように使う時代がやってきます。我々教職員がしっかり使えるように今後も研修を進めていきます。

新しい学習～プログラミング教育を実施しました～

外部講師を招き、プログラミング教育の授業を行いました。例えば、5年では、正多角形のプログラミング体験を通して、正多角形をかくための順序や、いろいろな正多角形をかくための「きまり」を考える力が身につきます。子どもたちは終始興味関心をもって取り組んでいました。